關西大學新聞
（等月）十二月一日發行
本紙定價　一部　金五錢　購告料　一行十五字詰　十五錢
大阪府豐能郡箕面村平尾一九一ノ七
編輯發行印刷人　山川　登
發行所　大阪府三島郡千里村片山三
關西大學千里山學友會新聞部
電話吹田二二三番
振替大阪二二八七五

消費者と失業者

後藤　清

インフレの世の中である。何もかも天井知らずに騰つて行く。騰らぬものは月給と褌のひも位だ、と嘆いた人があるが、まさにその通りだ。尤も最近には電燈料の極く僅か低下を見た地方がある。萬才ではないが、電燈は絶えず天井から下つてゐるのに、電燈料だけが騰るといふ法はあるまい、といふのでおいきあひに下つたのであらう。それはとにかく、物價の騰貴と同じ速度に各人のふところ工合が好くなるのではない。そこで、どこへ行つても消費節約の聲が喧しい。消費節約とは言ふまでもなく、今まで二つ使つてゐたものは為らうといふことである。二冊購ふ筈だつたものを一冊に減らす、といふやうな調子で。

ところが、こゝに一つ次のやうな調子で消費節約をすることのできぬものがある。人間の勞働力がそれである。勞働力は消費せずに節約したからといつてその分だけ貯へて置けるものではない。その上に、勞働力の消費を節約して勞働者を一人減らしたとしても解雇せられた勞働者はやはり食つて行かねばならぬ。この矛盾に社會問題の源がある。そこで勞働力においては、消費節約の意味は少し違つて來る。一國全體としての仕事の量即ちこの仕事に對して支拂はるゝ賃銀の量に限りがあるとすると、この仕事と賃銀とを成るべく公平に且つできるだけ多くの人にばら撒いて勞働を活かして使ふことが、すなはち消費の節約といふことになる。つまり節約されたのは、勞働力そのものではなく、失業者を養ふために要る金といふことになる。何故かといふと、失業者を養ふためには、社會保險制度の布かれてゐるところではそれだけ保險給付としての金が要るし、或ひは救護法によつて、或ひは親族間の扶養といふやうな形式で、金が費されてゐるからである。この無駄を無くするためには、不必要に——他人の就職の機會を奪つてまで——多くの收入を得てゐる者からその收入と仕事を奪つてこれを仕事と收入の無い人に與へるといふ方法が考へられる。

いろ〳〵の方法がある。勞働伸張と言つて、例へば八時間勞働に從事して六時間で切上げさせ、殘りの仕事と賃銀とを新しく傭入れらるべき勞働者に分つ、といふのも一方法である。しかしこの方法は、失業者激増といふやうな切迫した事態の生じた場合でなければそう易々と採られ得るものではない。何故かと言へば、切つめられた勞働時間に正比例して當然にこれまで使傭されてゐた勞働者の收入の減少を來すわけであり、それだけ生活が脅かされるからである。しかも、この場合には不必要に多くの收入を得てゐる者から不必要の收入の一部を奪ふといふ、前に述べ右節約の要件が滿足せられてゐないといふ決定的な缺點がある。

そこで理論的には、資本家が決めに從ひ立たないばかりでなく、社會が從等に期待する要求にも亦叶はないことに成るのである。

勿論、學問や文化の關係者が決して學問や文化について論議しないでなつて此學の問題はあるといふものが考へられるであらうか？さし當り考へられるのは國家經費の問題である。國家は、難しい法律的定義を下すと、官吏の退官後にこれに經濟上の保護を與へてその生活を保障することを目的とするものであるから、國家給を保障されてゐる者であると言ひ得る。彼は退官後他の職に就く事によつて得る收入は、端的に言へば、それ以上の資産三昧な生活のためのものである。世には退官後年收數千圓の國家給を受け乍ら、民間會社に迎へられて高給を受ける者が少くない。しかも一方においては職なくして三度の食をさへ缺く者が多く、時に街頭に彷徨するのである。

から國家給を受けつつ職に就ける者に對しては、何らかの制限を設けねばならぬ。このことはわが國家給法のすでに認めてゐるところである。すなはち國家給法第五八條第四號の「國家給年額千圓以上ニシテ其ノ國家給外ノ所得五千圓ヲ超エルトキ、國家給年額ト國家給外ノ所得ノ年額ノ合計額ノ六千圓ヲ超エル額」を停止スノニ制に相當スル金額ヲ停止ス」といふ規定は右に述べたやうな不合理を矯正せんために設けられたものである。けれども六千圓の生活を保障し僅かに六千圓を超ゆる額の二割を停止するやうな程度では、どの位にまで右の不合理の緩正に役立つか疑はしい。むしろ退官後就職せる者にはその國家給額の全部を停止するとか、或は相當額の國家給を受けてゐる者には就職を制限するとかいふやうな強硬な方法が採らるべきではあるまいか。同じやうに考へられねばならぬものに、夫婦共稼ぎがあり、內職稼ぎ（京大の醫診料事件と關聯して問題となつた帝大教授の私立學校稼ぎがそれである。私立學校から觀れば、立派な看板にもなり、また部合の悪いときにはたゞ易く斷り得るから、便利であるかも知れないが、これがためにどれだけ多くの若い優秀な學者が就職を妨げられてゐるか知れない）がある。

ところがわたくしが以上に述べたことは單にわたくし一人の夢想で、決して無年前にオーストリヤに於て一つの失敗談として奢侈せられ、法律案の作成といふことまで到つたことがあるやうなはちオーストリヤでは二重收入受領者（Doppelverdiener）として（一）同時に二個以上の勞務に就てゐる者（二）國給、年金を一方において受つゝ他方において勞働ある勞務を營みつつ他方において勞働の度を超えてその家族のメンバーの多數をして勞務に服せしめこれによつて勞働の分配の不公平を排除して失業者を救ひやうといふ趣旨から右に掲げた二重收入受領者を備入れるためには、產業地方委員會といふ勞働紹介機關の同意を要する旨を定めた法律案を作つたことが受領者を離れその收入の總計が一定の額を超ゆるに非ざれば規定の適用を受けざるものとしてゐたのであつて、不必要に多額の收入を得てゐる者を制限せんとする趣旨から言へば當然であらう。この法律案は二重收入の制限を挑戰とする意味に於て此國に集團的組合的な反抗を惹起したのである。

勞働者は、「法律案は二重收入の制限を挑戰とする意味に於て此國に集團的組合的な反抗を惹起したのである。

學友會の一轉換
文化擁護に起つ
文化機關援助を當局に運動
今年度事業の白眉

昭和十三年度千里山學友會委員會はその第一回を舊臘十五日召集、委員長以下各役員を決定し茲に新陣容を整へ愈愈成立したが、學友會委員會が全學生の代表である點よりその生命とも云ふべき新事業こそ全學關心目の焦點となつて來たしかしてその年度學友會新事業にも多年に亘る懸案が擧げられてゐるも就中白眉のものとしては本學の學生文化機關の擁護に乘出したことで、現在の學會、研究會並にこの種團體はその一、二を除き全般的に會員間の內部的な研究に止まる現狀から更に機構的な部的活躍にも備へしめ全學關に資與すべき各々獨特の文化的使命の完全なる遂行のため當局の援助を求めるべく運動せんとするのである

即ちこの學文化機關の大部分は學友會公認に屬せず、從つてその活動は財政的には會員間の會費に賴る外なく全く惡まれざる狀態なるを當局より何等かの援助を與へられるやう猛運動を起すことになつてゐる、殊に今事變下に關聯して大ひに活躍すべき研究團體も相當あり、今回の委員會の動きに對して學生文化機關本來の使命に應へんことが期望されてゐる

何これと共に無年委員會で計畫され乍ら實現の見られなかつた補外講演會に關しても是非實現を期して居り、之等を中心に今年度の新事業の實現に邁進することゝなら、何れにしても斯く學生文化の擁護に進出したことは同會新事業の近の一大特徴とも見られ、その成果は學關を挙げて期待をかけてゐる

累增する經濟學科
豫科生の學部志望申告狀況
角帽への憧れ・種々相

昭和十三春の黎明ほのかに香り初めて更生、復興の機運一入濃く我等學徒間に興へた時局の影響は大きく、あらゆる分野に真剣味を加へ各々その進む方向に真摯な檢討を加へて新分野に跳せんとしてゐるとき今春修了する豫科生の學部進入の申告狀況を見る——本年度なつかしの

白線帽 時代を巣立つて最高學府たる學部に進まうとする豫科生は將來の姿を夢見て憧れの思ひを走せ學部進入希望學科の選擇に餘念がない、春三月豫科を終了する豫科生の動きは第一豫科四〇名、第二豫科一六〇名で

昨年度 より約十名の增加である、今之等の各科別志望數を見ると一月十四日現在においては

	一豫	二豫	計
法律學	一三	六七	八〇
政治學	一一		一一
英文學		二一	二一
哲學	一一		一一
商業學	三	三〇	三三
經濟學	一六	四九	六五
未申告	五	一三	一八
合計	四〇	一六〇	二〇〇

（一月十四日現在調）

の狀態で、これを昨年度十二月調査の分と比較するとき政治學科一名、經濟學科十一名の各々增加、法律學科七名、英文學科一名、商業學科四名の各々減少を示して居り數年前からの法文學部の減少、經商學部の累增が依然見られる、即ち本學建學の

一特徴 たる法律學科は流行量において昨年度は一昨年度に比してやゝ增加してゐるも本年は再び減少して居り矢張り減少の傾向はいなめない、それに反して經濟學科の示す數は年毎に鰻上りの狀態で累增の一路を辿つてゐるのが眼を惹く

先頃より增加を示した商業學科は今回は稍々減少した數字を示してゐる、政治學、哲學、英文學の各科は本年來一名乃至二名で相變らず少いのは如何したものであらうか、經商學部中大阪に地盤を下す本學としては經商學部志望の累增を示すのも一傾向であらう

なほこの現狀は未申告者もある上に三月末までにはその變更が許されてゐるため今後多少の增減はあるものと見られるが大體の趨勢を示すものとして興味がある

校友忠魂碑
具體的プラン成る

既報、幸誠會員に應援團の共同提案にかゝる名譽の戰死校友、學友の英靈を祀る忠魂碑建設の計畫は時局の進展すると共にその機運益々高まり千里山、天六兩學會はその第一回を舊臘十五日召集、委員長以下各役員を決定し茲に新陣容を整へ愈愈成立したが、學友會委員會が全學生の代表である點よりその生命とも云ふべき新事業こそ全學關注目の焦點となつて來たしかしてその年度學友會新事業にも多年に亘る懸案が擧げられてゐるも就中白眉のものとしては本學の學生文化機關の擁護に乘出したことで、現在の學會、研究會並にこの種團體はその一、二を除き全般的に會員間の內部的な研究に止まる現狀から更に機構的な部的活躍にも備へしめ全學關に資與すべき各々獨特の文化的使命の完全なる遂行のため當局の援助を求めるべく運動せんとするのである

即ちこの學文化機關の大部分は學友會公認に屬せず、從つてその活動は財政的には會員間の會費に賴る外なく全く惡まれざる狀態なるを當局より何等かの援助を與へられるやう猛運動を起すことになつてゐる、殊に今事變下に關聯して大ひに活躍すべき研究團體も相當あり、今回の委員會の動きに對して學生文化機關本來の使命に應へんことが期望されてゐる

何これと共に無年委員會で計畫され乍ら實現の見られなかつた補外講演會に關しても是非實現を期して居り、之等を中心に今年度の新事業の實現に邁進することゝなら、何れにしても斯く學生文化の擁護に進出したことは同會新事業の近の一大特徴とも見られ、その成果は學關を挙げて期待をかけてゐる

學生論苑

變革期の經濟學に於ける一つの方向

谷口義正

一

凡ゆる實在は時空を超越することを得ず、人も亦其環境と歴史と の制約から免れ得ない。同樣なことが學問、文化科學の領域に就いても妥當する、即時間的には變革期的、定期的なるものを反同一エポック即資本主義時代においてさえもかの英國における個人主義自由主義的イデオロギーの基礎の上に立つリカルド以下の古典經濟學に對して、立脚した獨乙國民經濟の現實の上に非自由主義的（保護主義）國家的全體主義を基底とせるリスト等の唱へし經濟諸理論は

この事實を物語つてゐる。

私はこの小稿に於て最初の企圖は近世市民社會の變革期に於て將來社會へと導く原理の中核と經濟諸科學の學的編制並に歴史的發展過程に於て過去の原理の中核を意味必然性に於て理解し以て將來社會を結論付けると共に變革期に直面せる經濟學徒の使命と態度に論及せむと欲したが其は限られた紙面を餘りにも無視せるものであつた、私は私の小手由たる貧困なる頭機に浮び上つた假構の骨子のみを斷片的に掲げてみたい。

現在は市民社會資本主義社會の下降期として統制經濟の時代で

あり世界は準戰時經濟統制へと深化の度を深めたとは雖ひもなき事實である、特に我國においては特殊の事情から常へ呼れる如く準戰時と戰時經濟統制との重復せる意義を持つ、即支那事變においては戰時經濟であり、東洋平和の確立東洋人種の解放と世界文化への貢獻の目的の下において準戰時統制力發動し其處には無數の經濟法令の發合に依る强制的約束と生産と消費の調整並に對外貿易强制統制等所謂「ステイプル」使用の制限が國民經濟的立場の自覺のもとに甘じて對處すべき義務を負ふ。

同樣の事は世界の諸國民にとつても共通する、斯る實踐期たる變革期においては科學の理論と歴史の部面、特に理論は意味なき空中樓閣として傍に追やられる、しかし乍ら斯る出發的に不安なる變革期においてこそ斯る苦惱と混迷の現實的生命の內より體驗されし眞に次の時代を基礎付ける世界觀と歴史觀がまたこの過程切實な眞面目さにおいて要求される時はないであらう即混迷せる苦惱と激情間動なき實踐を貫ぬいて始て次の時代の學問的基礎原理理解され把握されし自覺を通して獲得されるのである、文化科學としての經濟學の基礎原理も非同樣の通路に於て獲得されるのである。

二

しからば變革期において果して將來社會の眼理は如何にして把握され理解され得るやそれは歴史的發展過程の姿當なる理解の上にのみよく爲され得るのである。先づ人間の最初の社會は血緣が基底たりし氏族社會であつた。それは本質的には情愛が社會の中核をなせし點において情が社會の眼理たりし時代と云へやう。しかしてこの氏族社會をその子孫と共に否定し止揚し次の社會を成立せしめしは實に槪刀であつた、從つて力が支配せし中世封建社會はその限りにおいて意志が支配せる時代であり しかして宗教的神秘主義と結び付きしこの時代は感覺的に意思を原理とせる時代と云ひ得るのである。

次に斯る意志的時代を再び否定止揚し以て近世社會を招來せしは實に自然科學的合理主義從つて知識が經濟が時代の中核を把握せし時代とみることが出來る即變革期に直面せる近世市民社會は自然科學的合理主義原理の上に凡ゆる文化を打樹てたのである、經濟學も亦物理數學的無數の法則を創設した、而も此の社會は再び矛盾し否定されこゝに變革期として混迷と苦惱の中に將來社會の原理を求めつゝ大いなる實踐を通して自覺的に體驗され新なる世界觀歴史觀を要請する。他の文化諸科學と同樣經濟學も亦新たなる世界觀の創造に對して固陋化凝制化された外衣を脱し發展的生命が歴史の流の中より新なる世界の原理を理解し把握せねばならない

私は ヘーゲル (Hegel) の amnd ion. ach. なる觀念者としの立場より再び情愛が將來社會の支配原理たることを强調したい、それは高度なる自覺人間的愛であり民族愛であり人類愛人種愛國民愛家族愛であらねばならない、しかして愛通と特殊との解決は止揚者の個性從つて歴史との妥當に於て國民愛が强調され斯る原理の基礎の上に文化（構造）科學としての經濟學を樹立せし時國民主義的經濟學の名において呼ばれ得るのである。

（本學古川教授は斯る愛の原理を强調されてゐる）

三

巨大なるコーヒと小麥粉の山が燒捨はれ、巨大なる棉花棉が太洋の中に投捨される時一方では飢餓と食料に脅かされ乍ら一片のパンを奪ふ爭ふこの市民社會の矛盾必然的に不外的整序に依つて是正せし止揚し次に依りてはこの矛盾を到底解決せし時間は來たるべき文化の擴大化自覺と歴史的發展の世界へ新天後退せねばならなくなつた、しかざるもの は浮標的として被ちる抽象者の名さへも意味なき人々に依り、興へられるに至つた、物的調達の配慮の文化個人をその單位とする經濟學は眞に本然の精神科學的方法に依つて理論認識せられるものである。文化は整序されることを欲する理解せられることを欲する、しかして同樣なるものは同樣なるものに依つてのみ良く理解され、即ち客觀化された精神たる文化はまた同樣なる精神に依つてのみ理解せられねばならない。斯て精神科學は自然科學的基礎の上に立つ經濟學に歸つてその主人公たるのである。

萬國學士院會議に
前學長 織田萬博士
日本代表に選ばる

教練査閲 良好裡に終了

年例の本學教練査閲は去る十二月一日午前八時より奇閲官河村少將を迎へ千里山グランドを中心に時局相を反映して終始緊張裡に進み「一般に元氣あり指導法又體實に成績良好なり」との講評があつて意義ある一日を終つた（寫眞は八島助教授撮影になる當日の十六ミリスナップである）

飯殿 昭和三年第九代學長として の就任より九年間その國滿なる人格と明敏なる手腕によつて當時の財政的苦境から本學經營に刷新を加へて發展につくされ、中にも一昨年五月には輝く創立五十周年を迎へて本學史上に意義ある學の發展をつくされ、中にも一昨年五月には輝く創立五十周年を迎へて本學史上に燦たる一頁を畫せられた事數々の偉業に埋もれつゝ昨年三月を期し本學今日の隆盛を思ひ出に退かれ今は伊賀上野の自邸に悠々自適の生活を送られ乍らも週一回「法理學」の講義に當つて居られる前學長仁保博士に對し多年學長又は顧問として親しく先生の謦欬に接した千里山學會全學生間において熱烈の一端として學長を

仁保前學長への
報恩の胸像
千里山全學生の衷情

本學前學長として現所議員就任に伴つて白耳義國首都ブラッセルに於て開會せられる第十九回萬國學士院聯合會議に映ある日本代表として選ばれ今次事變における正義日本の立場を說明し諸國の雲を晴くべく出發されることとなり來る四月ごろ故國の輿望を擔つて日本を出發される豫定である

尙、博士は大正六年より十一年に至る五年間本學第五代學長として就任され本學を從來の社團法人より「財團法人關西大學」と改組されると共に福島學會より千里山學會の基礎を確立された、學長を退かれて後も依然評議員として本學の發展に盡くされ、本學の學生文化機關の擁護に乘出したことは同會新事業の近の一大特徴とも見られ、その成果は學關を挙げて期待をかけてゐる（寫眞は出來上つた胸像）

日本文化講義
本庄榮治郎博士

國體觀の確立は國體の認識を深めその眞義を確實に把握せしめる目的の爲に日本文化講義が實施されて來たが先に神戸學長を講師として日本文化の眞義を說く第一回の文化講義を行つて居られる前學長仁保博士に對し多年學長又は顧問として親しく先生の謦欬に接した千里山學會全學生間において熱烈の一端として學長を

退かるを遠早く何等かの記念品を贈呈しやうとの發起より全學級委員間で萬事進められたが去る十二月初旬大丸五階鷹員部の手でこの胸像の胸像は見事出來上り同月十九日學生代表による仁保博士の自邸を訪れ贈呈した、胸像は先生日ごろの溫容そのまゝの高さ約一尺で臺には關西大學學部學科學生一同」の文字が浮彫されてゐる（寫眞は出來上つた胸像）

愈々眞實化され實行の軌道に乘らうとしてゐるのであるが東亜永遠の平和の礎となつて東國の魂と化した校友、學友の英靈をなぐさめ永くその功績を讃へ、日々これを

つたが鐵筆に興へた感銘は大きく引つゞきその第二回を開くことになり一月廿日第一八教室において京都帝大教授本庄榮治郎博士を講師として「我國近世の國體觀論」と題して講演が行はれた

校庭に仰いで學業にいそしむことは無言の精神的訓育になると共に又先輩諸氏の美はしき心情と感謝と併せ、全學關挙つて感謝誠への金輪的接助が望まれてゐる

獨逸へ!!

RID

獨逸國有鐵道中央觀光局日本支局
事務所　神戸市神戸區北野町二丁目十五ノ四　電話葺合②六一五五番
案內所　神戸市神戸區西町四二ノ一（日本生命內）　電話三宮③二〇七〇番

來れドイツへ
觀光に……視察に……遊學に・
獨逸國鐵道は日本語の案內書を作成し、又日本語の案內所を開設し、獨逸國鐵道の美はしき心情と感謝と併せ、全學關挙つて感謝誠への金輪的接助が望まれてゐる

獨逸國鐵道は基礎工事、階段、石碑、銅板等併せて約千八百圓で資金としては懸賞關費用及び昨年度大學奇殘餘金を學友會より仰いで之等を中心に更に

一般學生からは各人三十錢以上を千里山、天六兩學會より又關甲二西からも十錢乃至十五錢の資金を求むる外教職員其他各方面からも求めて調達することとなつてゐる

なほ具體的プランとして千里山學舍に敷地を選び正面廿七尺、橫卅尺高サ五尺の黑花崗岩及び白花崗岩水磨の記念塔を建立、上手に廿二個の銅板嵌めみ式として平永久期してゐる

尙くしてこの度の出發論確認の計畫は統後學生感謝の赤誠によつて

月二十六日千里山圖書館研究室に於午後一時半よりその第一回を開催當日は野村、木村兩教授出席、野村教授の發會の趣意と意義について越智弘氏の「ナチ最近の國際法思想の矛盾と其擁護」を主題にその發表と批判ありナチス最近の法律的實踐に就き意見の交換があつた

愛國心は國民の全部が感得して居る智のもの、大和魂は大和民族のすべてが享有して居る筈のもの、その社會的地位や職分に拘つて區別さるべき所由は無い◆白面長袖、文弱の姿態を擯せらる◆俳優、芝居人でも現に國地において華々しく武人の輝きを現した任長殿もある◆武家や町人が武士と同時に斷へた今日、國家の對外軍變にしては、人民即個人の任務は第一線に就くべき筈である◆

新事業は總計十七件
學部校舍改善案再度上程
時局柄緊急案に全力要望
學友會總豫算は 15・859・06 圓

昭和拾参年度 千里山學友會委員會

學友會委員は一歩々々新民命建設の軌道をスタートし初めた

第一回委員會

第一回委員は去る十二月三日午後一時學友會館集會室に開始された先づ佐藤使議長（中立・法二）開會を宣し最高學年（安達、石川、佐藤、喜多村、井筒、今井の六委員）間で正副委員長を互選の結果石川君（經三・鍛冶）委員長、安達君（經三・鍛冶）副委員長と決定、直ちに議題に入り左の如く所謂豫算編成委員を決定し任命した

豫算編成委員（安達、佐藤、喜多村、今井、井筒、坂口、牧村、村上）以上七名

會計監査委員（安達、佐藤、今井、中井）以上五名

學友會館管理委員（石川、喜多村、井筒、平野、足立）以上五名

常任委員（井筒、牧村、佐々木、三砂、片岡）以上五名

第二回委員會

第二回委員會は一月十八日午後三時より豫科第三教室で八島生徒主事立會の上開會された、石川委員長議事に入るを宣ずや先づ野球部代表マネージャ高橋君起立し議題たる「昭和十二年度同部會計決算報告」の説明をなし順次（學友會名簿順）に十七集團（但し馬術のみは決算報告書未提出のため他日に延期）代表者の説明終了すれば委員長〃新入會希望部の開部は現在未納のため本年度新入希望部なきと認め議事終了〃を宣言八島生徒主事登壇し今年度豫算に關し次の如く簡単に説明し代表者の各部員へ申渡しを傳言され午後五時散會した

「本年度豫算は昨年度より一千圓減少し總計一萬五千八百五十九圓六錢でその結果各部ともそれ〳〵前年度より減少するから諒解されたい……」

二時間に亘る議論に千里山豫算校舎を出づる委員、そして、殺つた代表者の間に早くも豫算減少を案ずるレポーが傳へられ夕闇の共にその足どりは重さに感じられた

第三回委員會

小雨降る一月十九日午後一時半近く、（また開會まで一時間）有手に手帳れの褐色のカバンを持ち、左手は無雑作に外套につっこんだまゝクラブハウス前の小徑を會場たる子三教室へ歩をはこぶ石川委員長

- 豫算編成に關し感想を聞けば

「僕としては例年と異り期日を設定、直ちに議題に入る左の如く所謂豫算編成委員を決定し任命した

豫算編成委員（安達、佐藤、喜多村、今井、井筒、坂口、牧村、村上）以上七名

會計監査委員（安達、佐藤、今井、中井）以上五名

學友會館管理委員（石川、喜多村、井筒、平野、足立）以上五名

常任委員（井筒、牧村、佐々木、三砂、片岡）以上五名

だけあつて能率用務、しかし顔に浮ぶ疲勞の色は隠逃なかつた午後二時半後三教室で開催、石川委員長（過年度委員出席を以て）開會を宣し議題に入るに先だち、思想善導建設に關する經緯を報告、次で各委員から提案され諸々の新事業を慎重審議、その結果次の項目を決定、夫々賞行委員を任命し終了した

大學前停留所附近に便所設置

學部教室照明の件

- 豫科に學内報新設の件

經商學部に珠算講座設置の件

使丁の増員、學部教室の清掃の件

學會に對する學校よりの補助

追試驗に關する件

學校より學友會費の補助

新進勝鬨敬舎の件

學園美化の件

應急消防設備設置の件

- 豫科に音の改質並びに學部と學門部の接續の區別の件
- 學部校舍改築促進に關する件

體育館設置の件

一般生徒慰安方法に關する件

- 武道正課編入の件

名十招待講演會春秋二回開催の件

學友會各部懇親會開催の件

以上の如く十八項目中、昨年度の事業として決定せられて本年度に持越されたのは四豫案・（甲）である、個懇運動費委員には千里山學友會より石川、佐藤の兩君、至誠會からは細川、伊皇兩君應援團側は寺部、横本、上杉の三君中二君（計六名）選出された

本年度決定豫案中、學部教室内照明、學會及學友會費に對する當局よりの補助等は特に猛運動を要望されず新グラウンドの改善、體育館設置の二項目はスポーツの國防化が叫ばれ行はれつゝある今日急務ではないだらうか、ブール神戸の如き豫科校舍燃失當時あわだけ論議されたのに拘らず葬られた現狀だ、委員が背後には我等が〃ガッチリ〃とスクラムして援助すればこそ達成せられるのだ、戰時體制下の學園だ、特に不急と思はれる項目よりも急を要する豫案に全力を集中しなければならない

第四回委員會

廿七集團の出書所――豫算減少で天引は覺悟の前とは云へ各部新設役員の顔色は開會を控へ〃曇り後雨〃だ、續く會場（豫算編成委員）に來る石川議長以下各豫算編成委員の顔、足どり語調すべて連日の疲勞の色あり〳〵と見に、その複雑さが檀察された、定刻を過ぎること午後三時半、愈々開始された廿七部郷に寄せてペンを走らせた戰場便りの一端をここに紹介してみやう

七月支那事變勃發後してから、早やくも今は劍戟の身となつて祖國のため力一杯戰つてゐる、我々は安らかな學園に學びうる幸福を彼等の胆に謝しつつ、進るかに彼等の武運長久を皇天に祈らう以下野口中尉よりの便り

敬官殿

久しく御無沙汰致して居ります敬官殿益々御壮健御多忙の御事とお察し致します

目下小生儀北支派遣○○部隊附大野部隊○○主計として北支の一角に奮戰力闘致して居ります

第一線雨の中を○○隊一の最年少○○主計として活躍して居ります、補給の絶かざる而も不毛地の給養には非常に苦心して參りました、然し○○以來○○○○以來の繁雑なる業務に幾多の苦心こそは、小官の將來の大成に導く輝けく論議されたのに拘らず葬られたる現狀だ、委員が背後には我等が〃ガッチリ〃とスクラムして援助すればこそ達成せられるのだ、特に不急と思はれる項目よりも急を要する豫案に全力を集中しなければならない

七月支那事變勃發後してから、早やくも今は劍戟の身となつて祖國のため力一杯戰つてゐる、我々は安らかな學園に學びうる幸福を彼等の胆に謝しつつ、進るかに彼等の武運長久を皇天に祈らう以下野口中尉よりの便り

敬官殿

久しく御無沙汰致して居ります敬官殿益々御壮健御多忙の御事とお察し致します

目下小生儀北支派遣○○部隊附大野部隊○○主計として北支の一角に奮戰力闘致して居ります

第一線雨の中を○○隊一の最年少○○主計として活躍して居ります、補給の絶かざる而も不毛地の給養には非常に苦心して參りました、然し○○以來○○○○以來の繁雑なる業務に幾多の苦心こそは、小官の將來の大成に導く輝けく

大野部隊○○主計　野口中尉

明治・慶應軍を粉砕し 全國（學生馬術）制覇成る
全關西學生馬術大會にも連覇

大阪、第四師團後援關西馬術聯盟主催第五回全關西馬術トーナメントに和高神戸大、大高商、大商大を破り明治獨逸倒以來一常勝關西の實力猛威を發揮し去る十二月十一、二の兩日行はれた同第六回大會に再度優勝した、本學チームは宮本主將以下廣谷、中里、安藤のメンバーで出場先づ第一回戰――

大工專を380點の差を以て破り、大外大語を除外で二戰を勝ち、第二戰は高商と會戰160―175の兩軍相當の得點であつたが本學着7點で辛勝、愈々神戸大を破つた天理外語と決勝を戰つたが接戰、本學86點の差で楽勝し連覇を完成部史に不滅の一頁を印するに至つた、更に同廿六日慶應と第十三回定期戦を仁川

阪神乘馬倶楽部で挙行、二年連覇の戰績は老杉揃ひの明治陣達は上野主將統率下に本學と戦、本學又三年連覇をんと宮本副主將以下各選手ガッチリ組んだ堅陣に対し慶應は戰した、戰前炭川に猛練習の賜は慶應軍の猛襲成らず（本學九二點―一〇二點慶應）本學の勝利に伏

配當額	
1・100	
・880	
・900	
1・080	
1・060	
・800	
1・090	
1・100	
・680	
・510	
・910	
・300	
・355	
・830	
・820	
・385	
・315	
・205	
・205	
20	
・450	
・140	
・145	
80	
65	
35	
65	
14・535	
配當額	
600	
150	
60	
300	
50	
164・06	
1・324・06	
計	15・859・06

部名	球技
野球	撃球
相撲	撃球
庭球	撃球
庭球	撃球
庭球

レコードと音樂

レコード三拍子不賛成論・その他

辻部政太郎

一

我國におけるやうに、なまのい洋樂がまだまだ十分豐富には聽かれないところでは、レコードの持つ機能といふものは、かなり大きい。

少し以前、その實數は明かでないが、所謂高級の洋樂レコードは歐米の諸國と比べても日本が最も多く消化すると傳へられてゐた。又イギリスあたりで、申込者の少いために成立を危ぶまれた特殊盤市の協會レコードなどが、日本からの申込によつて定數に達したといふやうなエピソードも何回か聞らしげに傳へられたりした。それが果してどれだけ正しく受け入れられたのか、どうだけ眞の音樂の理解と發展のために役立つたのかは、別問題として、右のやうな話はたしかに事實であつたらう。

勿論、ラヂオのスキッチ一つひねつて、ダイアルを廻せば、各國のすぐれた演奏家のあらゆる種類の樂曲が聴けり、又少し費用を掛すれば秀れた演奏にも不自由しないヨーロッパ等とは事情が違ふから、右のやうな事實が、消費者大衆の樂心を潤ほすことを表現して居れ、それが直にそれらの人々の鑑賞のレベルの高さを意味してゐるとはいへない。

しかし、とにかく、蓄音器のレコードが、ラヂオとともに、ある場合にはラヂオ以上に、我國における洋樂の普及に、少からぬ貢献をして來たといふことは十分認められる。

たしかに、傳統に乏しく、實演に恵まれずラヂオのプログラムに組音樂的な飢渇がなかなか充されず難い我國の洋樂愛好家にはレコードは重寶な道具である。

ただ、それは道具であり、便宜的手段であつて、目的そのものでないことは、充分注意してかるべきであらう。

音樂と一口に云つても我國では邦樂と洋樂の問題といふやうな複雜な問題が横はつてゐるが話題が次次にいくらでも聞かつて行つてはきりがないから、今は話を大體洋樂に限つて、一般にレコード音樂愛好者のともすれば陥り易い錯覚といふやうな點を、問題に取上げて見たい。

二

判り切つたことだが「レコード音樂」を愛好するのは「音樂」を愛するのであつて「レコード」を愛するのではない筈だ。

ところが、世には、この〔遊〕の場合が屢々ある。手段が目的になつてしまつてゐるわけだ。

大して音樂そのものに強い熱情を持つてゐるわけでもないのに、たゞ何となくレコードを多く買ふ從つてその買ひ方も頗る氣まぐれで出鱈目だ。一定期間だけでパタリ熱がさめてしまつてやき他のものに鞍替したり、ほんの二三回きいてセコハン屋に賣り飛ばしてしまつたり、或は、徒らに蒐集のための蒐集に終始したり、いつまで經つても、鑑賞の耳のレベルが上らなかつたり、さういふレコード・ファンがかなり多いと思ふ。

一方、もつと高級なグラモフィルだと、自ら任じてゐる人々の間にも、一般に隨分奇妙なテイレッタンテイズムの色が濃く見られるやうだ。

さういふ人々の間には時にはその嗜好が變態的な「物慾」にまで凝結してゐる場合も少からず不必要な程度の「珍品意識」もその邊から湧醸されてくるといふことになる。レコード音樂界の種類などといはれる人々の中には、かういふのが

〔寧〕ろ多いと思はれる。さういふ蒐集家も一部分は極めて少數あつてもいゝだらうが、さういふ悪い意味でのディレッタンテイズムが一般に强要されたり、それでレコード界が指導されたりしてはたまらない。

三

レコードの評價に、よく所謂「三拍子」といふ條件が云云され一般の常識のやうになつてゐるが、これも人々の檢討を要する問題だいふまでもなく、「三拍子」といふのは、吹込まれてゐる「樂曲の內容」と「演奏家及び演奏」と「錄音」の程度を指すのだが、これは本來決してパラレルの條件でない。

音樂そのものが目的で、レコードはそれを聽くため媒介である以上、音樂の內容、即ち樂曲それ自體、その解釋表現が勿論第一義の問題だ。

この場合も、樂曲の內容自體が決定的な重要性をもつてゐる。例へば、演奏家がカザルスやクライスラーであつても、通俗的な小品が何回も吹込み直されてゐる場合などには、それ以下の演奏家がまだレコード化されてない重要な名曲を始めて入れた場合ほど、食指を動かし得ないといふこともあるのである。

しかし、一般には決してさうは考へられてゐないやうだ。同一曲目が、何回も何種類も、くりかへしてレコード化されることなどは勿論主として各レコード會社の商策から出て來ることだが、一面さういふ需要者の錯覚につけ入られてゐるとも云へるのである。

しかし樂曲の表現如何といふことは、勿論音樂の鑑賞にとつても大事なことで、同じ樂曲でも表現の差から雲泥の開きが生じる場合も屢々あるから、この點は一歩を讓つて「曲目」と「演奏」は同時に重要な條件だとしておいてもいゝ。もつとも同じ演奏家が、比較的つまらない曲を入れた場合と、すぐれた稀らしい曲を入れた場合とつ人なら、誰しも後者をとるのは自明で、さういふところからも曲目が決定的だといふ私の考へは變らないのだが。

要するに、一定水準以上の解釋演奏ならば、曲目の如何といふことが、最も大切な吾である。しかし、今いつたやうに既にこの二つはほゞ同一の重要性をもつ要件だとしておいても「錄音」がこの二つに直に肩を並べる條件のやうに言はれる場合、それは一寸眉唾もの だと思ふ。

なほどレコードといふ絶對的な生產品に、錄音技術は非常に大切なことだし、又、電氣吹込以後においてもその進歩の跡は歴然たるものがあるし、さうして現在のものでも、いゝ錄音と悪い錄音との間には隨分從來の一般の錄音技術は非常に大切なことを、今いつたやうに既にこの二つはほゞ同一の重要性をもつ要件だとしておいても「錄音」がこの二つに直に肩を並べる條件のやうに言はれる場合、それは一寸眉唾もの だと思ふ。

なほどレコードといふ絶對的な生產品に、錄音技術は非常に大切なことだし、又、電氣吹込以後においてもその進歩の跡は歴然たるものがあるし、さうして現在のものでも、いゝ錄音と悪い錄音との間には隨分從來の一般の錄音技術の差があつたりして、それが直に音樂に對する鑑賞のレベルの高さを意味してゐるとはいへない。

しかし、とにかく、蓄音器のレコードが、ラヂオとともに、ある場合にはラヂオ以上に、我國における洋樂の普及に、少からぬ貢献をして來たといふことは十分認められる。

たしかに、傳統に乏しく、實演に恵まれずラヂオのプログラムに組音樂的な飢渇がなかなか充されず難い我國の洋樂愛好家にはレコードは重寶な道具である。

ただ、それは道具であり、便宜的手段であつて、目的そのものでないことは、充分注意してかるべきであらう。

音樂と一口に云つても我國では邦樂と洋樂の問題といふやうな複雜な問題が横はつてゐるが話題が次次にいくらでも聞かつて行つてはきりがないから、今は話を大體洋樂に限つて、一般にレコード音樂愛好者のともすれば陥り易い錯覚といふやうな點を、問題に取上げて見たい。

二

判り切つたことだが「レコード音樂」を愛好するのは「音樂」を愛するのであつて「レコード」を愛するのではない筈だ。

ところが、世には、この〔遊〕の場合が屢々ある。手段が目的になつてしまつてゐるわけだ。

大して音樂そのものに強い熱情を持つてゐるわけでもないのに、たゞ何となくレコードを多く買ふ從つてその買ひ方も頗る氣まぐれで出鱈目だ。一定期間だけでパタリ熱がさめてしまつてやき他のものに鞍替したり、ほんの二三回きいてセコハン屋に賣り飛ばしてしまつたり、或は、徒らに蒐集のための蒐集に終始したり、いつまで經つても、鑑賞の耳のレベルが上らなかつたり、さういふレコード・ファンがかなり多いと思ふ。

一方、もつと高級なグラモフィルだと、自ら任じてゐる人々の間にも、一般に隨分奇妙なテイレッタンテイズムの色が濃く見られるやうだ。

さういふ人々の間には時にはその嗜好が變態的な「物慾」にまで凝結してゐる場合も少からず不必要な程度の「珍品意識」もその邊から湧醸されてくるといふことになる。レコード音樂界の種類などといはれる人々の中には、かういふのが

〔寧〕ろ多いと思はれる。さういふ蒐集家も一部分は極めて少數あつてもいゝだらうが、さういふ悪い意味でのディレッタンテイズムが一般に强要されたり、それでレコード界が指導されたりしてはたまらない。

三

レコードの評價に、よく所謂「三拍子」といふ條件が云云され一般の常識のやうになつてゐるが、これも人々の檢討を要する問題だいふまでもなく、「三拍子」といふのは、吹込まれてゐる「樂曲の內容」と「演奏家及び演奏」と「錄音」の程度を指すのだが、これは本來決してパラレルの條件でない。

音樂そのものが目的で、レコードはそれを聽くため媒介である以上、音樂の內容、即ち樂曲それ自體、その解釋表現が勿論第一義の問題だ。

この場合も、樂曲の內容自體が決定的な重要性をもつてゐる。例へば、演奏家がカザルスやクライスラーであつても、通俗的な小品が何回も吹込み直されてゐる場合などには、それ以下の演奏家がまだレコード化されてない重要な名曲を始めて入れた場合ほど、食指を動かし得ないといふこともあるのである。

しかし、一般には決してさうは考へられてゐないやうだ。同一曲目が、何回も何種類も、くりかへしてレコード化されることなどは勿論主として各レコード會社の商策から出て來ることだが、一面さういふ需要者の錯覚につけ入られてゐるとも云へるのである。

しかし樂曲の表現如何といふことは、勿論音樂の鑑賞にとつても大事なことで、同じ樂曲でも表現の差から雲泥の開きが生じる場合も屢々あるから、この點は一歩を讓つて「曲目」と「演奏」は同時に重要な條件だとしておいてもいゝ。もつとも同じ演奏家が、比較的つまらない曲を入れた場合と、すぐれた稀らしい曲を入れた場合とつ人なら、誰しも後者をとるのは自明で、さういふところからも曲目が決定的だといふ私の考へは變らないのだが。

要するに、一定水準以上の解釋演奏ならば、曲目の如何といふことが、最も大切な吾である。しかし